

■岩佐又兵衛(勝以) 大和絵の故事画を当世風に仕立てた独特の画風を確立、浮世絵の先駆となった。

いわさまたべえ

上杉謙信没・1578＝

伊丹城主荒木村重の末子として誕生。この年、村重が織田信長に反逆し、攻撃される。

安土教会許可1579＝ 1歳：

その一族は処刑されたが、村重は城外にあって生きのび、又兵衛も乳母に救出され、京都本願寺に隠れて母方の姓を名のり、京で成長したという。

本能寺の変・1582＝ 4歳：

賤ヶ岳の戦い・1583＝ 5歳：又兵衛が父の村重に会った可能性。

秀吉太政大臣1586＝ 8歳：父村重没。

パレノ追放令 1587＝ 9歳：北野の茶会を見る。

秀吉全国統一1590＝12歳：

26聖人殉教・1596＝18歳：

関ヶ原の戦い・1600＝22歳：この頃、難波にいた織田信雄に仕えた。

また二条家に入出入りした形跡がある。

阿国歌舞伎始1603＝25歳：長子誕生？

徳川家康隠居1605＝27歳：

家康駿府退隠1607＝29歳：

大坂冬の陣・1614＝36歳：この頃、舟木本「洛中洛外屏風図」描くか。

大坂夏の陣・1615＝37歳：

この頃、*一族をつれて越前北ノ庄(現、福井市)へ下り、招いてくれた僧心願のところに寄寓。画才をかぶき大名藩主松平忠直に買われて恩顧を受け、工房を擁して本格的な絵画制作を行う。

徳川家康没・1616＝38歳：

おそらく特異な大名との出会いで才能が開花し、豪商金屋家のため傑作「金谷屏風」を描いたことが知られ、絵巻「山中常盤」や「人麿・貫之図」双幅等の傑作を次々描いたと考えられる。

徳川家光将軍1623＝45歳：忠直が豊後に配流ののちも、その子忠昌の庇護を受け、

伊が子断交・1624＝46歳：この頃から、画作が活発になり、

徳川秀忠没・1632＝54歳：心願が没する。

鎖国令Ⅰ・・・1633＝55歳：この年、訴えられた寺の申し開きの目安書を代書。

実力が江戸に知られるようになって、

島原の乱始・1637＝59歳：*画家不足に悩む将軍家筋から招かれ、妻子を残して京を経て江戸へ下り、道中記「廻国道之記」を記す。

島原の乱終・1638＝60歳：早速、将軍家光の娘が尾張家に降嫁するに際しての調度品を制作し、

鎖国令Ⅴ・・・1639＝61歳：続いて、前年焼失した川越仙波東照宮再建拜殿のため「三十六歌仙図額」を難渋しながら描き、

寛永飢饉始・1640＝62歳：*ようやく完成させて奉納、代表作となる。

家光鎖国完成1641＝63歳：

以後、江戸で工房を営みながら、

又兵衛と工房によるとみられる*多数の傑作を残して、

御蔭参流行・1650＝72歳：江戸に在住したまま、没した。